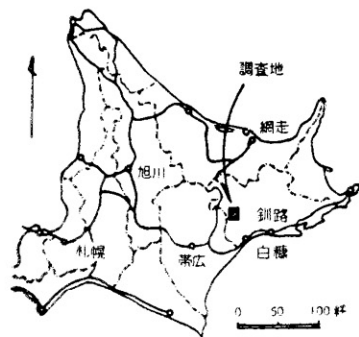




所内第5回写真コンクール入選作「奥地調査の移動馬車」
燃料部 石炭課 鈴木泰輔



位置図

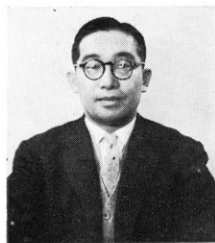
な入山形態があり 交通の便・不便は 入山という調査前の行動に大きな意味をもっている。

写真は 銚路炭田北西部調査の入山風景である。根室本線白糠駅からバスで茶路川沿いを北上すること3時間余で白糠郡二股部落に着く。調査地はそこからさらに奥地にあり沢をさかのぼる以外に道はない。

馬車には 調査用の7つ道具を満載し 懸崖や滝を避け やぶを伐採し 速成の道を作りながら 目的地へと進んでいく。

奥地調査の移動馬車

われわれが調査を行う場合 調査地によってさまざま



蔵田工業用水課長

蔵田工業用水課長アメリカへ

地質部蔵田延男工業用水課長は日本生産性本部工業用水専門視察団(団長安芸俊一氏 一行10名)に加わり 去る6月29日羽田空港から渡米した。

なお一行は アメリカ合衆国内20数カ所の工業用水源および工業用水使用現場を巡検視察し8月中旬帰国の予定である。

人事往来 (34.4~6)

視察の外人

- 4. 3 オランダ I.T.C の Mr. Verstappen
- 4. 6 インド学術会議 Dr. C. P. Agarwal
- 5.26 フィリピン鉱山開発会社 Mr. M. Tavel
- 6.18 チリー大学 Dr. W. Biese
- 6.18 インドネシア国産業省鉱山局 Mr. S. M. Soir
- 6.24 I. A. E. A. 極東調査団 Mr. J. webb
- 6.25 アメリカ大使館 ブラッドレー氏

・所員の海外出張・帰国

- 4.10 鉱床部 中沢次郎技官 アフガニスタン国から帰国
- 4.18 地質部 沢田秀穂技官 アフガニスタン国から帰国
- 5.27 地質部 平山健課長 インドネシア国から帰国

- 6. 2 燃料部 伊田一善技官 フィリピン国から帰国
- 6.12 地質部 斎藤正次部長 オーストラリアその他へ出張
- 6.29 地質部 蔵田延男課長 アメリカへ出張

……地質調査所の出版物……

- ・地質調査所月報(第10巻第6号)

報文

- 大和 栄次郎・安藤 武・大田 一：新潟県東頸城郡地すべり調査報告
- 高瀬 博：愛媛県中部地域含銅硫化鉄鉱床調査報告(2)
- 室住 正義・杉山 光佑・小谷 良隆：秋田県立又鉱山電気探鉱調査報告
- 本島 公司・牧野 登喜男：炭田ガス研究調査報告
- 石和田 靖章：横芝R1号井の試掘結果について

概報

- 大分県大分川水系ダム地点地質調査報告
- 高知県下川鉱山電気探鉱調査報告(第2報)
- 神奈川県大船付近天然ガス調査報告
- 天然ガス試掘井飯岡R1調査報告

資料

石油と天然ガスの埋蔵量と関連性のある産油層の地質・物理パラメーターの決定について

「訂正」 No.53 18p タイトル 車窓展望(北海道その他)は(北海道その2)の誤植につき訂正します